

1. 工事概要

発注機関名	261000.京都市 上下水道局 〇〇部	発注担当者チェック欄	
		担当者	
		TEL	

加盟団体名		記入年月日	令和 年 月 日
請負会社名		工事責任者	
建設業許可 または 解体工事業登録	TEL	調査票記入者	
会社所在地	FAX		

工事名	〇〇〇〇工事	請負金額	(税込)	建築面積	m ²	階数(地上)	階
工事施工場所	26100.京都市 京都市	工期(開始)	令和 年 月 日	延床面積	m ²	階数(地下)	階
(地先等)		工期(終了)	令和 年 月 日	構造		用途	
工事概要等	施工条件の内容	再資源化等が完了した年月日	令和 年 月 日				

2. 建設資材利用実施

建設資材 (新材を含む全体の利用状況)					左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい)						再生資源利用率 (B)/(A)*100
分類	小分類	規格	主な利用用途	利用量(A)	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種類	施工条件内容	再生資材の供給元場所住所	再生資材の名称	再生資材利用量(B)	
特定建設資材	コンクリート			(トン)						(トン)	
				(トン)						(トン)	
	合計			(トン)						(トン)	
	コンクリート及び鉄から成る建設資材				(トン)						(トン)
合計				(トン)						(トン)	
木材				(トン)						(トン)	
	合計			(トン)						(トン)	
アスファルト混合物				(トン)						(トン)	
	合計			(トン)						(トン)	
その他建設資材	土砂			(m ³)						(m ³)	
				(m ³)						(m ³)	
	合計			(m ³)						(m ³)	
	砕石				(m ³)						(m ³)
合計				(m ³)						(m ³)	
塩化ビニル管・継手				(kg)						(kg)	
	合計			(kg)						(kg)	
石膏ボード				(トン)						(トン)	
	合計			(トン)						(トン)	
その他の建設資材				(トン)						(トン)	
	合計			(トン)						(トン)	

参考

※必ず最新の書式を確認の上、用いてください。

(建設リサイクル法)

様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

2.建設副産物搬出実施

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④	現場内利用		減量化		現場外搬出について							再生資源利用 促進率 (②+③+⑤) / ①(%)			
		用途	②利用量	③うち現場内 改良分	減量法	④減量化量	搬出先名称	区分	施工条件 の内容	搬出先場所住所	運搬距離	搬出先の 種類		④現場外搬出量	⑤うち現場内改良分	⑤再生資源 利用促進量
特定建設 資材 廃棄物	コンクリート塊	(トン)	(トン)	(トン)			搬出先1				km		(トン)	(トン)	(トン)	
	建設発生木材A (柱、梁など木製資材 が廃棄物となったもの)	(トン)	(トン)	(トン)			搬出先1				km		(トン)	(トン)	(トン)	
	アスファルト・ コンクリート塊	(トン)	(トン)	(トン)			搬出先1				km		(トン)	(トン)	(トン)	
建設 廃棄物	その他がれき類	(トン)					搬出先1				km		(トン)		(トン)	
	建設発生木材B (立木、除根材などが廃 棄物となったもの)	(トン)	(トン)	(トン)			搬出先1				km		(トン)		(トン)	
	建設汚泥	(トン)	(トン)	(トン)		(トン)	搬出先1				km		(トン)	(トン)	(トン)	
	金属くず	(トン)					搬出先1				km		(トン)		(トン)	
	廃塩化ビニル管 ・継手	(kg)					搬出先1				km		(kg)		(kg)	
	廃プラスチック (塩化ビニル管・ 継手を除く)	(トン)					搬出先1				km		(トン)		(トン)	
	廃石膏ボード	(トン)					搬出先1				km		(トン)		(トン)	
	紙くず	(トン)					搬出先1				km		(トン)		(トン)	
	アスベスト (飛散性)	(トン)					搬出先1				km		(トン)		(トン)	
	その他の分別 された廃棄物	(トン)					搬出先1				km		(トン)		(トン)	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	(トン)					搬出先1				km		(トン)		(トン)	
	建設 発生 土	第一種 建設発生土	(地山m ³)		(地山m ³)			搬出先1				km		(地山m ³)	(地山m ³)	(地山m ³)
		第二種 建設発生土	(地山m ³)		(地山m ³)			搬出先1				km		(地山m ³)	(地山m ³)	(地山m ³)
第三種 建設発生土		(地山m ³)		(地山m ³)			搬出先1				km		(地山m ³)	(地山m ³)	(地山m ³)	
第四種 建設発生土		(地山m ³)		(地山m ³)			搬出先1				km		(地山m ³)	(地山m ³)	(地山m ³)	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		(地山m ³)		(地山m ³)			搬出先1				km		(地山m ³)	(地山m ³)	(地山m ³)	
合計		(地山m ³)		(地山m ³)			搬出先1				km		(地山m ³)	(地山m ³)	(地山m ³)	

※必ず最新の書式を確認の上、用いてください。

(建設リサイクル法)

【様式1】再生資源利用計画書（実施書）（「COBRIS：建設副産物情報交換システム」の出力様式）

記入例

様式1 再生資源利用実施書 ー建設資材搬入工事用ー ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再生資源化報告」対応版ー

名前の代わりに
半角数字「0」を入力

発注機関名 東京都 都市整備局		発注者 東京都 都市整備局		発注者コードNo. 1 3 0 0 9 3		発注者電話番号 00-0000-0000		発注者住所 東京都港区〇〇町〇〇丁目〇〇番地〇〇号		TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		FAX 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		受注者名 (株)〇〇建設		東京都 〇〇〇 一般 12345		受注者コードNo. 6 1 0 0 0		記入年月日 〇〇〇〇-〇〇-〇〇		工事責任者 〇〇〇〇		調査票記入者 〇〇〇〇	
工事名 第〇〇号〇〇丁目道路工事		工事種別 B-2		請負金額 2500,000円		工期 平成26年5月1日から平成26年11月18日まで		再資源化等が完了した年月日 平成26年11月17日		実施書では入力必要		建築・解体工事のみ記入		建築面積		延床面積		階数		地上階		地下階			
工事施工場所 東京都 港区 〇〇町〇〇丁目〇〇番地		施工条件の内容 (再生資源の利用に関する特記事項等) 舗装工事は、再生密粒度アスコンを使用すること		建設資材搬入工事用		建設リサイクル法第18条再生資源化報告		建設リサイクルガイドライン		建設リサイクル法第18条再生資源化報告		建設リサイクルガイドライン		建設リサイクル法第18条再生資源化報告		建設リサイクルガイドライン		建設リサイクル法第18条再生資源化報告		建設リサイクルガイドライン		建設リサイクル法第18条再生資源化報告			

2.建設資材利用実施

建設資材 (新材を含む全体の利用状況) 単位に注意					左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい)										再生資源
分類	小分類	規格	主な利用用途	利用量(A)	再生資材の供給元施設、工事等の名称		再生資材の供給元場所住所		住所コード	再生資材の名称	再生資材利用量(B)	利用率			
コード#5	コード#5		コード#6	小数量第一位まで	コード#7	内容	コード#8		#4	コード#9	小数量第一位まで	B/A×100			
特定建設資材	コンクリート	1	15	トン	〇〇施設(株)	6	1	東京都墨田区〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 1 0 7	4	68	トン	100 %		
		5	68	トン							68	トン	81.9 %		
	合計		83	トン											
	コンクリート及び鉄から成る建設資材	1	1	トン	△△(株)	4	2	東京都平塚市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 1 0 1	1	0	トン	0 %		
木材															
合計															
その他の建設資材	アスファルト	3	30	トン	〇〇リサイクルセンター(株)	3	2	東京都足立区〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 1 2 1	3	15	トン	50 %		
	混合物	2	20	トン	現場内利用	1	1	東京都港区〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 1 0 3	2	10	トン	50 %		
	合計		50	トン											
	土砂	2	45	締めm ³	現場内利用	1	1	東京都港区〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 1 0 3	2	45	締めm ³	100 %		
	8	10	締めm ³	現場内利用	1	1	東京都港区〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 1 0 3	8	10	締めm ³	100 %			
合計		55	締めm ³												
砕石															
合計															
塩化ビニル管・継手															
合計															
石膏ボード															
合計															
その他の建設資材															
合計															
合計															

市区町村名と住所コードの一致 ※別紙コード表参照

具体的な名称を記入

※入力されているコードが正しいか、確認してください。

コード#5

コンクリートについて

- 1.生コン(バージン骨材)
- 2.再生生コン(Co再生骨材H)
- 3.再生生コン(Co再生骨材M)
- 4.再生生コン(Co再生骨材L)
- 5.再生生コン(その他のCo再生骨材)
- 6.再生生コン(Co再生骨材以外の再生材)
- 7.無筋コンクリート二次製品
- 8.その他

コンクリート及び鉄から成る建設資材について

- 1.有筋コンクリート二次製品
- 2.その他

木材について

- 1.木材(ボード類を除く)
- 2.木質ボード

アスファルト混合物について

- 1.粗粒度アスコン
- 2.中粒度アスコン
- 3.細粒度アスコン
- 4.熱硬化アスコン
- 5.改質アスコン
- 6.再生アスファルトモルタル
- 7.加熱アスファルト安定処理路盤材
- 8.その他

土砂について

- 1.第一種建設発生土
- 2.第二種建設発生土
- 3.第三種建設発生土
- 4.第四種建設発生土
- 5.浚渫土以外の泥土
- 6.浚渫土
- 7.土質改良土
- 8.建設汚泥処理土
- 9.再生コンクリート砂
- 10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)

砕石について

- 1.クラッシャーラン
- 2.粒度調整砕石
- 3.紙さい
- 4.単粒度砕石
- 5.くり石、割くり石、自然石
- 6.その他

塩化ビニル管・継手について

- 1.硬質塩化ビニル管
- 2.その他

石膏ボードについて

- 1.石膏ボード
- 2.シーリング石膏ボード
- 3.強化石膏ボード
- 4.化粧石膏ボード
- 5.石膏ラスボード
- 6.その他

その他の建設資材について

(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

コード#6

アスファルト混合物について

- 1.表層
- 2.基層
- 3.上層路盤
- 4.歩道
- 5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)

土砂について

- 1.道路路床
- 2.路床
- 3.河川築堤
- 4.構築物の裏込材、埋戻し
- 5.宅地造成
- 6.水面立上
- 7.ほ場整備(農地整備)
- 8.その他(具体的に記入)

砕石について

- 1.舗装の下層路盤材
- 2.舗装の上層路盤材
- 3.構築物の裏込材、基礎材
- 4.その他(具体的に記入)

塩化ビニル管・継手について

- 1.水道(配水)用
- 2.下水道用
- 3.ケーブル用
- 4.農業用
- 5.設備用
- 6.その他

石膏ボードについて

- 1.壁
- 2.天井
- 3.その他

その他の建設資材について

(利用用途を具体的に記入して下さい)

コード#7

再生資材の供給元について

- 1.現場内利用
- 2.他の工事現場(内陸)
- 3.他の工事現場(海面)
- 4.再資源(施設)
- 5.土砂ストックヤード
- 6.その他

再生資材の供給元住所住所

市区町村名と住所コードの一致 ※別紙コード表参照

コード#8

施工条件について

- 1.再生材の利用の指示あり
- 2.再生材の利用の指示なし

コード#9

コンクリートについて

- 1.再生生コン(Co再生骨材H)
- 2.再生生コン(Co再生骨材M)
- 3.再生生コン(Co再生骨材L)
- 4.再生生コン(その他のCo再生骨材)
- 5.再生生コン(Co再生骨材以外の再生材)
- 6.再生無筋コンクリート二次製品
- 7.その他

コンクリート及び鉄から成る建設資材について

- 1.再生有筋コンクリート二次製品
- 2.その他

木材について

- 1.再生木材(ボード類を除く)
- 2.再生木質ボード

アスファルト混合物について

- 1.再生粗粒度アスコン
- 2.再生中粒度アスコン
- 3.再生細粒度アスコン
- 4.再生熱硬化アスコン
- 5.再生改質アスコン
- 6.再生アスファルトモルタル
- 7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材
- 8.その他

土砂について

- 1.第一種建設発生土
- 2.第二種建設発生土
- 3.第三種建設発生土
- 4.第四種建設発生土
- 5.浚渫土以外の泥土
- 6.浚渫土
- 7.土質改良土
- 8.建設汚泥処理土
- 9.再生コンクリート砂

砕石について

- 1.再生クラッシャーラン
- 2.再生粒度調整砕石
- 3.紙さい
- 4.その他

塩化ビニル管・継手について

- 1.硬質塩化ビニル管
- 2.その他

石膏ボードについて

- 1.石膏ボード
- 2.シーリング石膏ボード
- 3.強化石膏ボード
- 4.化粧石膏ボード
- 5.石膏ラスボード
- 6.その他

その他の建設資材について

(利用量の多い上位2品目を再生資材名称を具体的に記入して下さい)

【様式2】再生資源利用促進計画書（実施書）（「COBRIS：建設副産物情報交換システム」の出力様式）

記入例

様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出実施

単位に注意

整数あるいは小数点第一位まで入力

建設副産物の種類	①発生量 (概算等) =②+③+④ 小数点第一位まで	現場内利用・減量		現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②/(②+③+④) (%)	
		用途コード *10 小数点第一位まで	②利用量 うち現場内改良分 *10 小数点第一位まで	③減量化 減量化コード *11 小数点第一位まで	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかに○を付けて下さい	施工条件の内容 コード *12	搬出先場所住所	住所コード *4	運搬距離 千 百 十 ー *13	搬出先の種類 コード *13 小数点第一位まで	④現場外搬出量 5ヶ現場内改良分 *13 小数点第一位まで	⑤再生資源利用促進量 ②/(②+③+④) (%)		
コンクリート塊	65 トン	1	20 トン	0 トン	搬出先1 (株)〇〇リサイクル	公共 民間	1	東京都江東区〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 1 0 8	8 km	5	45 トン	0 トン	45 トン	100 %
建設発生木材A (木、チリ、スラ、等)	3.2 トン	0	0 トン	0 トン	搬出先1 △△(株) チップ化施設	公共 民間	1	東京都東村山市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 2 1 3	3.6 km	5	3.2 トン	0 トン	3.2 トン	100 %
アスファルト コンクリート塊	300 トン	0	0 トン	0 トン	搬出先1 〇〇道路(株) 〇〇工場	公共 民間	1	東京都葛飾区〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 1 2 2	2.2 km	4	300 トン	0 トン	300 トン	100 %
その他がれき類	トン				搬出先1 公共 民間										
建設発生木材B (木、チリ、スラ、等)	10 トン	0	0 トン	0 トン	搬出先1 〇〇(株) チップ化施設	公共 民間	1	東京都東村山市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 2 1 3	3.6 km	5	10 トン	0 トン	10 トン	100 %
建設汚泥	200 トン	2	10 トン	10 トン	搬出先1 足立区〇〇工事	公共 民間	1	東京都足立区〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 1 2 1	3.0 km	2	150 トン	0 トン	175 トン	100 %
金属くず	トン				搬出先1 △△(株) △△処分場	公共 民間	1	東京都小金井市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 2 1 0	3.3 km	5	25 トン	0 トン	25 トン	100 %
廃塩化ビニル管・継手	kg				搬出先1 搬出先が2箇所ある場合、搬出先2にも記入する	公共 民間									
プラスチックの 廃塩化ビニル管・継手を除く	トン				搬出先1 3箇所以上にわたる場合は新しい用紙に記入	公共 民間									
廃石膏ボード	トン				搬出先1 市町村名と住所コードの一致 ※別紙コード表参照	公共 民間									
紙くず	トン				搬出先1 整数で記入	公共 民間									
フラスコ (廃酸)	トン				搬出先1 整数で記入	公共 民間									
その他の分別された廃棄物	トン				搬出先1 公共 民間										
建設発生廃棄物 (建設発生廃棄物)	トン				搬出先1 公共 民間										
第一種 建設発生土	300 地山m ³	0	0 地山m ³	0 地山m ³	搬出先1 江戸川区△△工事	公共 民間	1	東京都江戸川区〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 1 2 3	2.2 km	2	170 地山m ³	0 地山m ³	300 地山m ³	100 %
第二種 建設発生土	345 地山m ³	2	45 地山m ³	30 地山m ³	搬出先2 〇〇(株) 〇〇ストックヤード	公共 民間	1	東京都大田区〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 1 1 1	1.4 km	6	130 地山m ³	0 地山m ³	345 地山m ³	42 %
第三種 建設発生土	50 地山m ³	0	0 地山m ³	0 地山m ³	搬出先1 江戸川区△△工事	公共 民間	1	東京都江戸川区〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 1 2 3	2.2 km	2	100 地山m ³	0 地山m ³	100 地山m ³	40 %
第四種 建設発生土	地山m ³				搬出先2 〇〇(株) 〇〇処分場	公共 民間	2	東京都八王子市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	1 3 2 0 1	4.9 km	14	200 地山m ³	0 地山m ³	200 地山m ³	40 %
建設発生土以外の泥土	地山m ³				搬出先1 建設発生土のみ合計記入	公共 民間									
浚渫土 (建設汚泥を除く)	地山m ³				搬出先2 公共 民間										
合計	695 地山m ³		45 地山m ³	30 地山m ³								650 地山m ³	420 地山m ³	66.9 %	

特定建設資材は原則100%
他の資材も、100%でない場合、原因確認

コード*10
1.路盤材
2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他(具体的に記入)

コード*11
1.焼却
2.脱水
3.天日乾燥
4.その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
【建設廃棄物の場合】
1.先卸
2.他の工事現場(内陸)
3.広域指定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(単焼却知)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

【建設発生土の場合】
1.先卸
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント(再利用先工事が決定)
5.土質改良プラント(再利用先工事が未決定)
6.ストックヤード(再利用先工事が決定)
7.ストックヤード(再利用先工事が未決定)
8.工事予定地
9.採石場・砂利採取跡地等種旧事業
10.廃棄物最終処分場(運土以外の受入)
11.廃棄物最終処分場(運土以外の受入)
12.建設発生土受入地(公共事業の土捨場)
13.建設発生土受入地(農地受入)
14.建設発生土受入地(民間土捨場・残土処分場)

※入力されているコードが正しいか、確認してください。

◆ 7.8.9 ⇒ 要確認
京都市運用では通常「再資源化施設」4.5へ搬出

◆ 7.11.12.14 ⇒ 要確認(有効利用にあたらぬ)
◆ 承認処分であっても、コードを選択